

2015年7月24日

日本ユニシス・エクセリューションズ POLYGONALmeister® Cleaner(ポリゴナルマイスター クリーナー)を リコーが採用

日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社(本社:東京都江東区、社長:今村 康、以下 UEL)のポリゴン[®]データ修正ソフトウェア「POLYGONALmeister Cleaner」が、株式会社リコー(本社:東京都中央区、社長:三浦 善司 氏、以下 RICOH)が7月27日から販売開始するオランダ製の3Dプリンター「Leapfrog」(リープフロッグ)において採用されました。

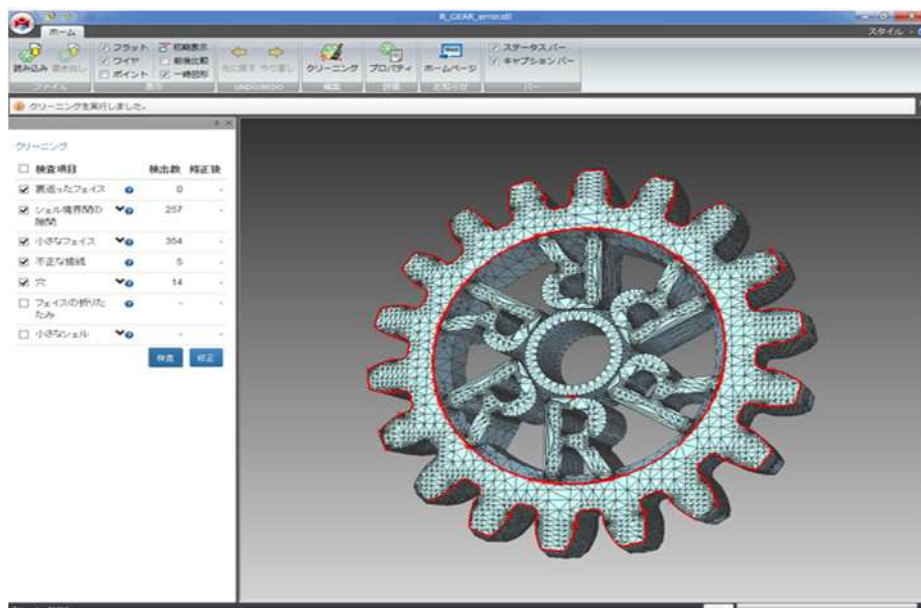
ポリゴンデータは3次元スキャナー、3次元CAD、CGなどから作られますが、作成や変換の過程で不正なポリゴンデータが作られるケースがあります。不正なポリゴンデータは、3Dプリンター側のソフトウェアでの読み込みができない、スライスデータが作れないなどの問題が発生したり、3Dプリントができて形状が不良になり、時間や材料コストが無駄になってしまうことが問題でした。

この問題を解決するために、ユーザーは3Dプリンターとは別にポリゴン修正ソフトを購入することが通常でしたが、ユーザーの利便性や顧客満足度を重視したRICOHは「POLYGONALmeister Cleaner」を同梱することとしました。簡単な操作で、高品質な修正が行えることが採用の理由です。編集機能の充実した「POLYGONALmeister Editor」(10月発売予定)の販売に対してもRICOHが販売店となることで合意しています。

今後UELではポリゴンデータの活用がさまざまな分野で進むと見ており、「POLYGONALmeister」の販売に加え、ライブラリーの販売、関連ソフトウェアの開発など、ポリゴンデータに関するビジネスを強化していきます。

「POLYGONALmeister Cleaner」の機能と画面

表裏不整合、Tジャンクション、微小エッジ/微小フェース、鋭三角形、非多様体、フェース間の折れ、非連結部、不正箇所を表示などのポリゴンデータの不正箇所を修正します。



以上

注：ポリゴン

三角形や四角形などの多角形を敷き詰めて、物の表面の形を表現するときの各多角形をポリゴンといいます。計測データの表現や3Dプリンターの入力には通常、三角形の集まりが使われます。

関連URL：

POLYGONALmeister：<http://www.excel.co.jp/polygon/index.shtml>

株式会社リコー：<http://jp.ricoh.com/about/>

POLYGONALmeister は、日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社の登録商標です。その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。